

第121回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題・解答

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	受取手形	売掛金
売買目的有価証券	未収入金	前払金	仮払金
保管有価証券	備品	貯蔵品	保証債務
支払手形	買掛金	未払金	借入金
前受金	仮受金	未払配当金	備品減価償却累計額
保証債務見返	資本金	資本準備金	利益準備金
新築積立金	繰越利益剰余金	有価証券売却益	支払利息
有価証券売却損	固定資産売却益	固定資産売却損	固定資産除却損
本店	仙台支店	神戸支店	

- 三木谷商事株式会社の本店は、神戸支店から仙台支店へ現金 ¥ 200,000 を送金した旨の通知を受け取った。なお、同社は本店集中計算制度を採用している。
- 当期中に3回に分けて取得した同一銘柄の売買目的有価証券500株のうち300株を1株 ¥ 5,850 で売却した。なお、代金は当座預金口座に振り込まれた。この有価証券は、第1回目は200株を1株 ¥ 5,600 で、第2回目は200株を1株 ¥ 6,000 で、第3回目は100株を1株 ¥ 5,400 で、それぞれ買い付けている。同社は平均法で売買目的有価証券の記帳処理をしている。
- 平成20年6月25日に開催された株主総会で、以下のように繰越利益剰余金の処分が行われた。なお、同社の資本金は ¥ 20,000,000 であり、資本準備金は ¥ 4,000,000、利益準備金は ¥ 800,000 がそれぞれ既に積み立てられている。
 - ・配当金：¥ 3,000,000
 - ・新築積立金：¥ 1,000,000
 - ・利益準備金：会社法の定める必要額
- 債務保証をしていた取引先が、期日に ¥ 6,000,000 の借入金の返済が不能となり、債権者から利息 ¥ 400,000 を含めて返済を求められたので、小切手を振り出して支払った。なお、同社は保証債務については対照勘定を用いて備忘記録をしている。
- 使用中の備品 ¥ 600,000 (減価償却累計額 ¥ 350,000、間接法) を期首除却した。その備品の処分価値は ¥ 150,000 と見積もられた。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	仙台支店	200,000	神戸支店	200,000
2	当座預金	1,755,000	売買目的有価証券 有価証券売却益	1,716,000 39,000
3	繰越利益剰余金	4,200,000	未払配当金 新築積立金 利益準備金	3,000,000 1,000,000 200,000
4	未収入金 保証債務	6,400,000 6,000,000	当座預金 保証債務見返	6,400,000 6,000,000
5	備品減価償却累計額 貯蔵品 固定資産除却損	350,000 150,000 100,000	備品	600,000